

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) プレイヤーは18名以内（スコアラー1名を含む）とし、他のベンチ入りは、監督1名、コーチ1名、引率責任者1名、合計21名以内とする。
- (3) フィールディングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレイヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (4) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (5) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、引率責任者及び監督は出場チームの代表者・校長・教員・部活動指導員とする。また、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。ただし、地域クラブ活動においては、該当しない。
- (7) コーチにはフィールディングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (8) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガースを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ずスロートガード付きマスク、捕手ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (10) 1・3塁のベースコーチの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。
- (11) チームのメンバーは、声を出したり、動作で投球のコースを教えたりしてはならない。
- (12) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (13) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (14) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

※(公財)日本中学校体育連盟ソフトボール競技部申し合わせ事項
(2025(令和6年)4月1日)より抜粋

3 競技方法

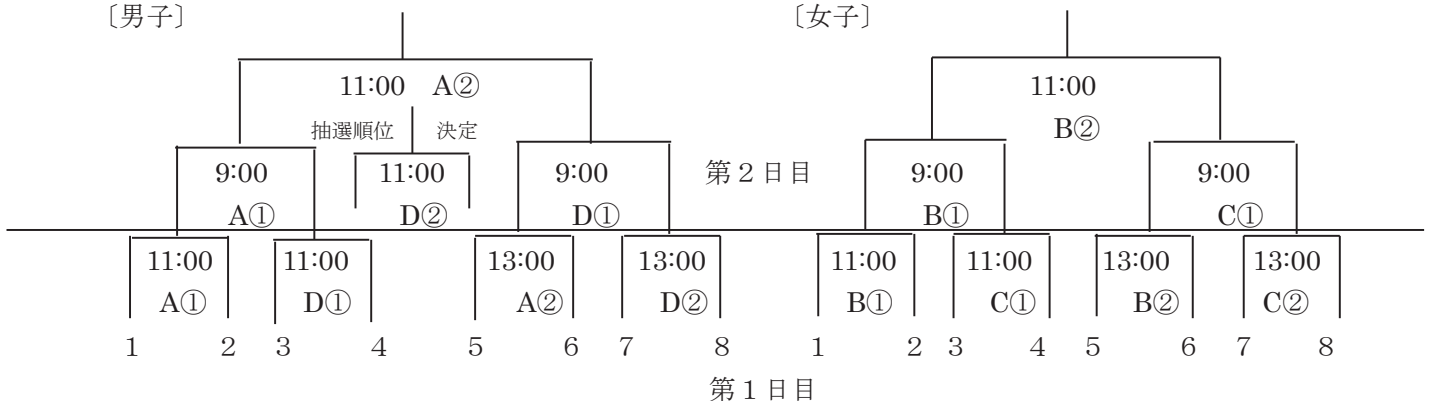
- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は抽選順位決定戦を行う。
- (2) 試合会場は、次の通りである。なお、今年度は、開会式は行わない。

男子：吉野川北岸運動広場
A 球場・D 球場

女子：吉野川北岸運動広場
B 球場・C 球場

- (3) 組合せ
〔男子〕

〔女子〕



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。